

事業費などを補正

6月定例会

6月定例会は、6月21日から7月1日までの11日間の会期で開催され、一般会計補正予算をはじめ、条例の一部改正など原案どおり可決されました。また、請願1件を採択しました。

一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、熊本地震災害支援事業費や小学校施設整備事業費など増額補正し、県営土地改良事業費など減額補正して、歳入歳出それぞれ4億740万8千円を増額し、補正後の予算総額は211億7978万7千円となりました。

総務費

熊本地震災害支援事業費

368万7千円

熊本地震に係る人的支援に伴う職員派遣に必要な経費を補正するもの。

問 支援派遣先と業務内容は。
答 現在は、宇城市へ派遣している。業務内容は、支援物資の仕分け作業、罹災証明の受付業務、市税の減免申請の受付業務を行っている。

企画費（一般経費）

1756万円

ふるさと寄附金に係る筆耕賃金及び職務代行に要する経費を計上するもの。

問 返礼品の返礼率と今後のタイムスケジュールは。
答 返礼率は、50%の予定で代行手数料9%と合せて59%となる。

7月に市内事業者に返礼品の出荷説明会を実施し、9月から10月初めには本格的に稼働したい。

まちづくり事業費

330万円

一般財団法人自治総合センターが、地域コミュニティ組織の地域づくり活動に対し採択した団体への助成を行うもの。

問 申し込み団体と採択された団体数は。
答 4団体が申し込み、2団体が採択された。翌年度実施する事業については、8月末までに申し込みのことになっている。



コミュニティ助成事業

消防費

災害対策費（一般経費）

3980万円

頤娃長崎地区の景観を利用した散策道及び災害時の避難道として整備を図るもの。

問 避難道以外の活用方法と、対象地区の世帯数及び人口は。
答 避難道だけではなく補助対象とならず、景観を活かした散策道（避難道）として採択された。

世帯数89世帯で人口は179人である。



長崎地区避難道路整備予定地

衛生費

火葬場管理費

17万3千円

今後の本市の火葬場のあり方について検討するための、南九州市火葬場検討委員会設置に伴う経費を補正するもの。

問 委員会の設置目的は。
答 枕崎共同斎場が、炉の老朽化が激しく、改修が予定より2～3年早まる可能性があり、枕崎に加入を続けるのか、頤娃及び川辺の2斎場とするか、新設するべきか、といったことについて検討を行うものである。



頤娃浄楽苑

小学校施設整備

教育費

小学校施設整備事業費
川辺小学校（屋内運動場）

1億7384万7千円

国の学校施設環境改善交付金事業の不採択により市単独事業に計画変更し、整備するもの。

小学校施設整備事業費
浮辺小学校

1億1242万円

国の学校施設環境改善交付金事業の不採択により市単独事業で整備を図るもの。

問 粟ヶ窪小学校の改修工事も予定されているなか、浮辺小学校の改修工事を優先する理由は、
答 安心安全、危険除去の観点から、老朽化が激しく安全性に問題がある浮辺小を優先した。



文教厚生常任委員会の浮辺小現場視察

委員会から

教育環境の整備については、安心安全な視点から整備は必要であると考え、今後においては、財政状況や児童・生徒数の動向等を見据え、真に必要なかつ有効な事業となるよう慎重に取り組むことを求める。

農林水産事業費

園芸産地再生産支援事業費

198万8千円

寒波に伴う低温などによる知覧地区のソラマメ生産において、被害を受けた農家の次期生産に向けた支援に係る経費を補正するもの。

問 対象品目など採択基準は。

答 全品目対象で農家3戸以上かつJA生産部会に加入していることが採択基準である。

畜産クラスター事業費

1億5681万1千円

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に採択されたことにより、施設整備に係る補助金を補正するもの。



商工費

交流推進費（一般経費）

50万円

全国田んぼアートサミット実行委員会に、サミット開催経費を事業負担金として支出するもの。

問 サミットの開催内容は。

答 8月3日に川辺町田部田の田んぼアート現地で夕涼み会、翌4日に川辺文化会館にてサミットが開催される。基調講演、事例発表、パネルディスカッションが行われる。



茶畑ツアーの様子

持続可能な着地型観光
創出支援事業費

300万円

平成28年度地域振興推進事業に採択されたため補正する。

問 本事業の内容は。
答 着地型観光とは、地元が企画した地域ならではの観光プログラムに観光客が現地集合、現地解散で参加する新しい観光形態で、NPO法人類娃おこそ会の取り組みに収益性を持たせ、持続可能な事業としての構築を図るもの。